

FY2022～2024

# 中期経営計画

福井コンピュータホールディングス株式会社  
2022年5月13日

## 中期経営計画期間について

これまで当社グループがCAD事業の経営基盤を築いてきた

FY2018までを第1創業期、FY2019以降を第2創業期と考えております。

FY2019～2021を第1期中期経営計画期間とし、FY2022～2024までの本中期経営計画期間を第2期としております。

本期間では建設業界全体の構造変化が求められる中で、当社グループの社会的な存在意義および長期的に目指す姿を明確にした上で、

FY2025以降の新たなステップへ向けた成長起点を構築して参ります。

# 第1期中期経営計画振り返り

## 重点施策推進による定量目標の達成状況

| No | 項目   | 最終年度実績 | 目標比         |
|----|------|--------|-------------|
| 1  | 連結売上 | 143億円  | +17 億円      |
| 2  | 営業利益 | 63億円   | +18 億円      |
| 3  | 純利益率 | 29.5%  | +6.3 %PT    |
| 4  | ROE  | 24.4%  | — ※15%以上の実現 |

- 利益計画は中計初年度である2019年度で達成

### 主な要因

- IT導入補助金による情報通信技術の普及。
- i-ConstructionやBIM/CIM推進による建設現場におけるIT・ICT製品の需要高まり。

### 課題と今後

- 既存事業は堅調の一方、スタートアップの創出は限定的。
- 五輪特需の一服感と民間設備投資鈍化による建築受注減や建設現場におけるDXの推進等の外部環境変化への対応。
- 当社の経営体制や事業構造における内部課題に対応しつつ持続的な成長を実現。

2

## 目指す将来像

MISSION

Be Must Be.

建設業のなくてはならないになる。

VISION

All for Stakeholder.

関係する人から喜ばれる会社になる。

VALUE

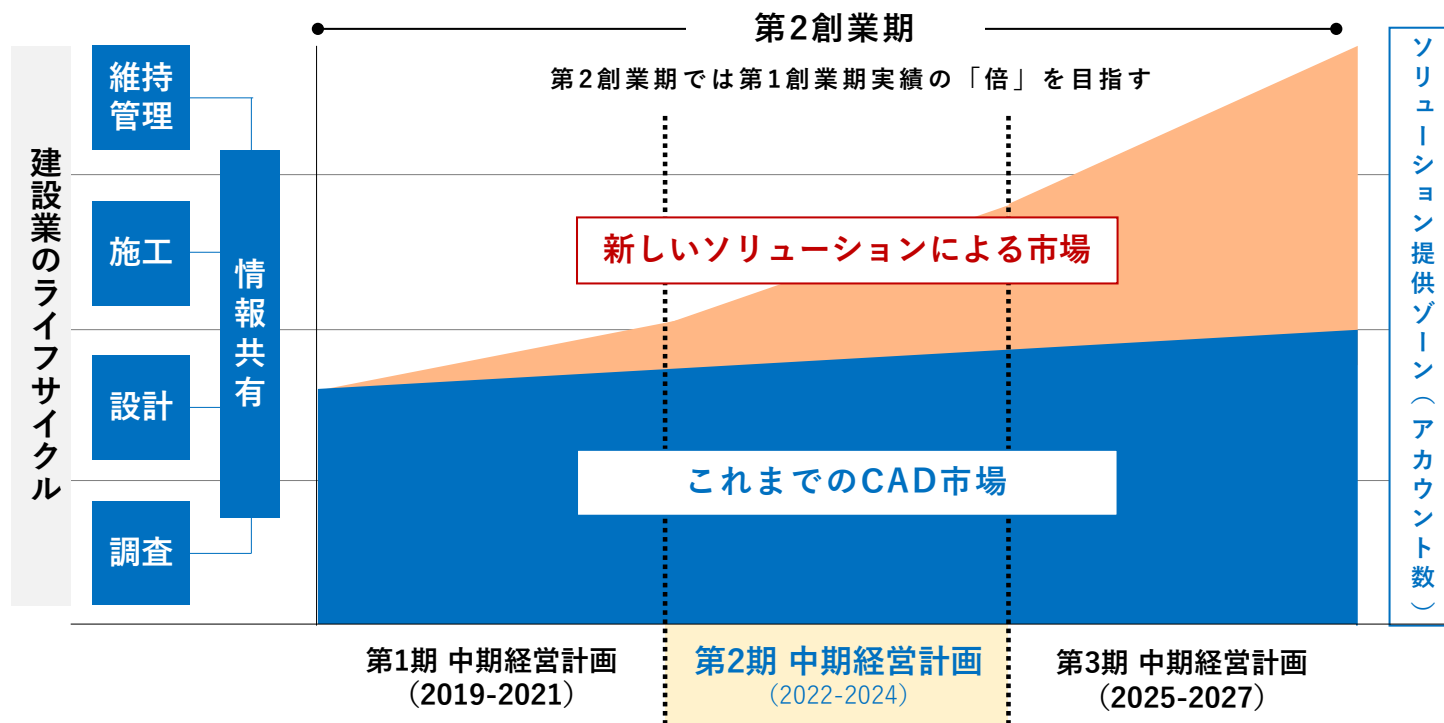
Dream Big, Design First.

望まれるものをいち早くつくる。

3

## 目指すべき成長のイメージ

- 「調査」「設計」を主体とした建設系のシステム事業は営業基盤を活かしつつアカウント数を拡大します。
- 「施工」「維持管理」「情報共有」分野の展開に注力し、ソリューション提供ゾーンを広げます。



4

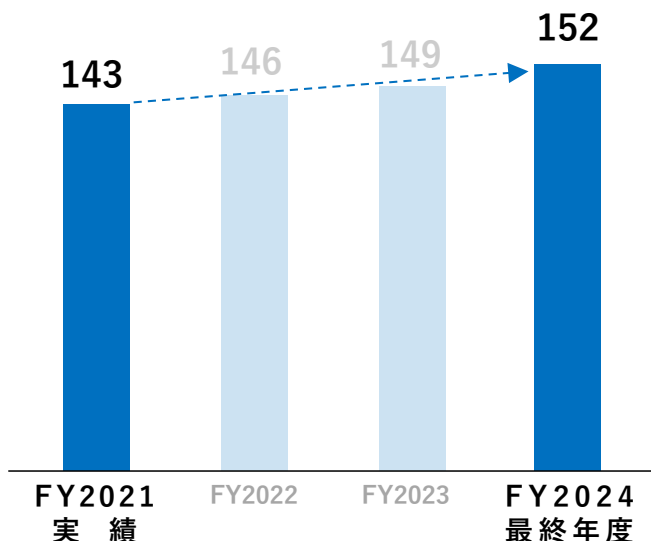
## 基本方針、定量目標

### ■ 本中期経営計画の基本方針

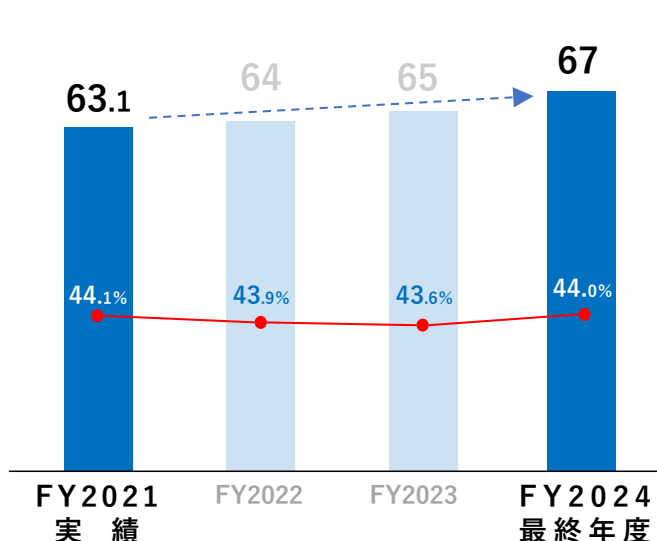
- ・FY2025以降の急成長を目指すための成長起点構築期間

既存商品の持続的成長による売上拡大を行いつつ利益は維持し、新たなサービス開発や事業持続性の強化を行います。

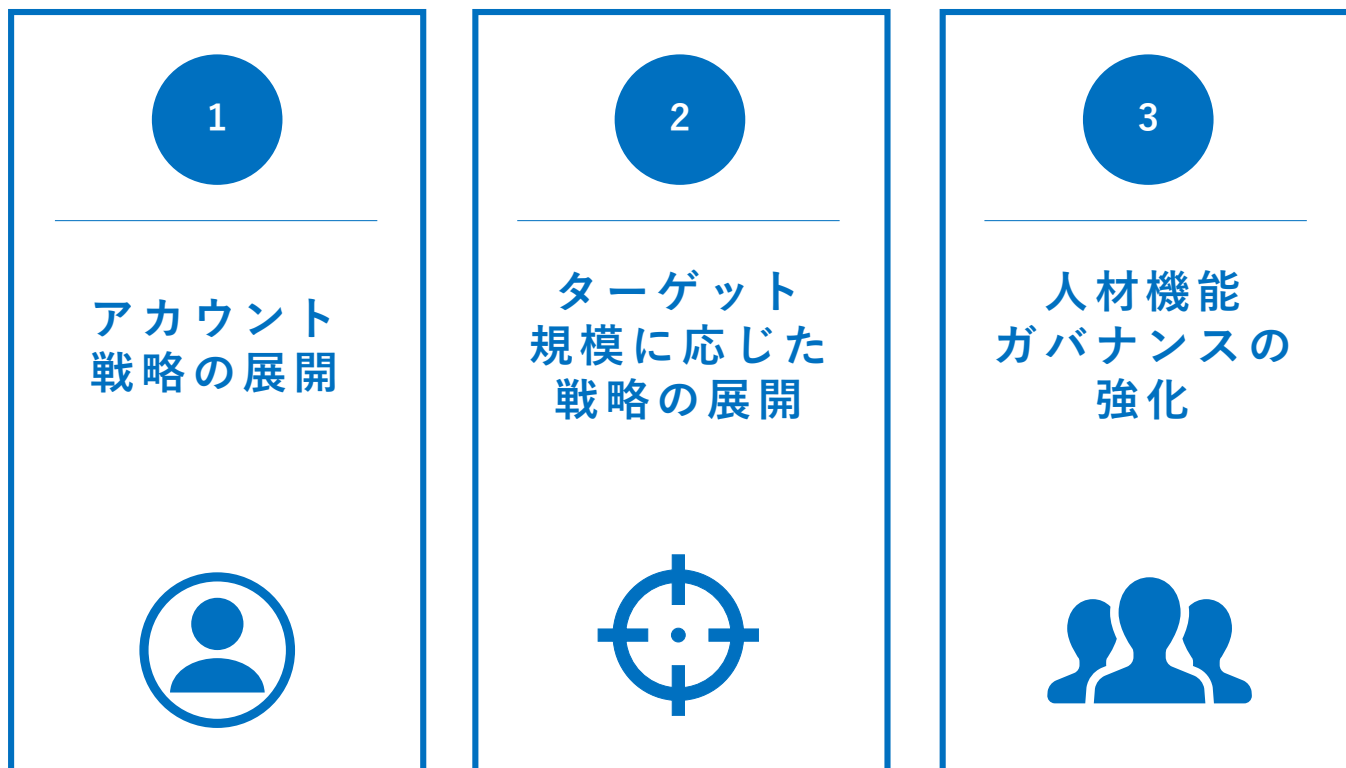
### ■ 売上高 (億円)



### ■ 営業利益、営業利益率 (億円)



5



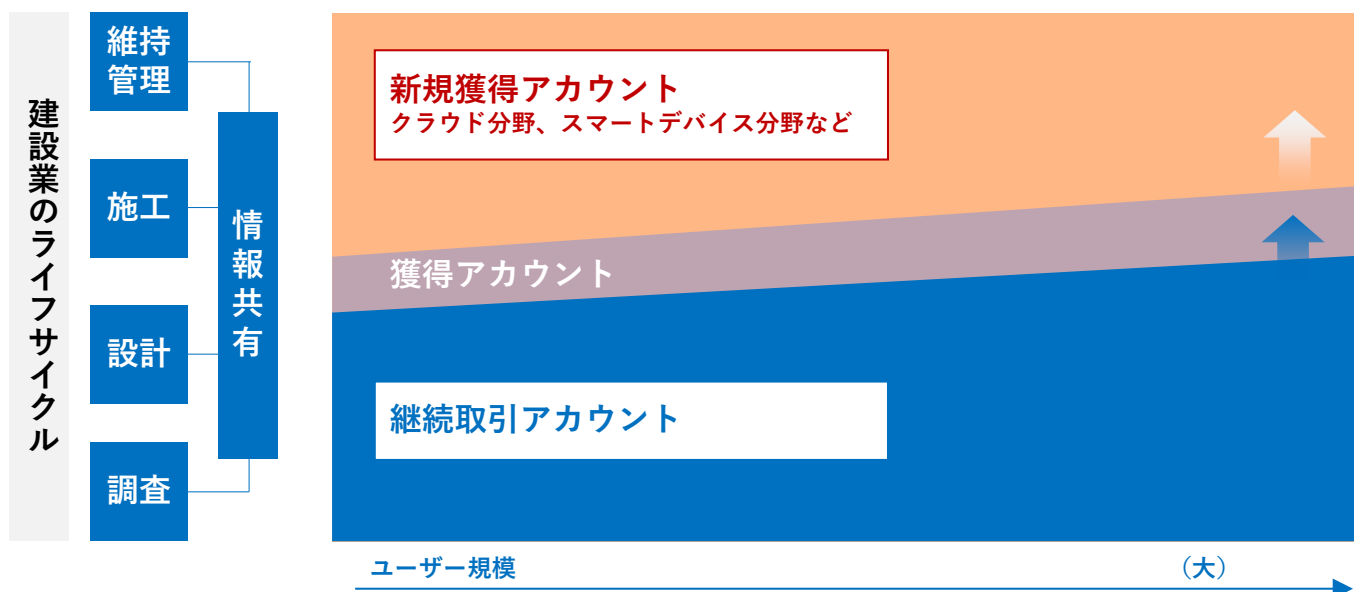
6

## 重点施策：財務戦略①

## ■ アカウント戦略の展開

- 「調査」「設計」分野は、次期システム開発に合わせ、リピート率向上へつながらる提供方法へ変更します。
- 「施工」「維持管理」「情報共有」は新商品、クラウド、スマートデバイス分野で新規アカウントを獲得します。

売上 = 顧客数（アカウント数）× 単価 × リピート率



7

## 重点施策：財務戦略①

### ■ アカウント戦略の展開

- ・次期システム開発は、着実な支援が行えるよう国策を捉え、継続的にキャッチ&リリースいたします。

#### 次期システム開発でキャッチすべきキーワード

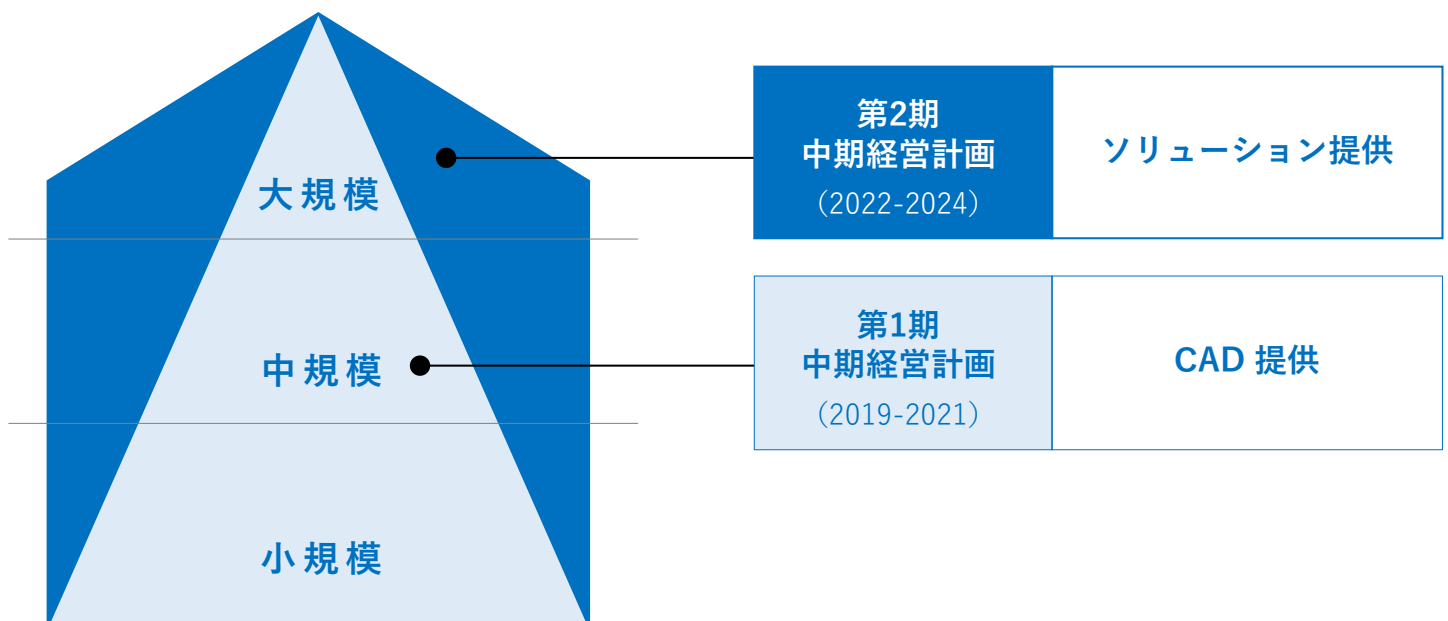
| 建築システム事業      | 測量土木システム事業      |
|---------------|-----------------|
| ・改正省エネ法       | ・i-Construction |
| ・住生活基本計画      | ・ICT施工          |
| ・建築確認申請のデジタル化 | ・基本測量に関する長期計画   |
| ・施工現場のDX化     | ・不動産登記制度見直し     |
| ・CNとSDGs      | ・第7次国土調査事業十箇年計画 |
| ・原則BIM／CIM化   |                 |
| ・デジタル社会形成基本法  |                 |
| ・働き方改革関連法     |                 |

8

## 重点施策：財務戦略②

### ■ ターゲット規模に応じた戦略の展開

- ・ターゲットをセグメント化しCADに加え既存商品や新たなサービスを含めたソリューション提供を行います。
- ・収益性向上の狙える業種、事業に対し経営資源を優先配分いたします。

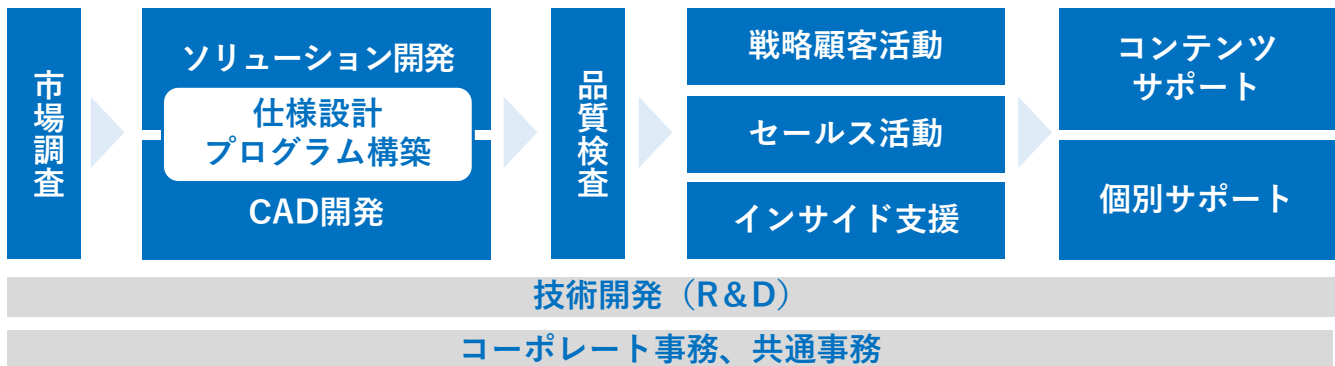


9

# 重点施策：非財務戦略

## ■ 人材機能の強化

・ターゲット別戦略を見据え、既存事業の持続的成長と新たな成長領域の展開が可能な機能再編を行います。



## ■ ガバナンスの強化

- 取締役会実効性のさらなる強化
- 業績連動報酬への比重拡大
- 株主との対話の質量向上

10

# コーポレートサステナビリティ

## ■ 事業活動を通じたサステイナブルな社会への貢献



- プロフェッショナル人材育成
- 多様な価値観を尊重し受容できる人材育成
- テレワーク勤務制度の継続

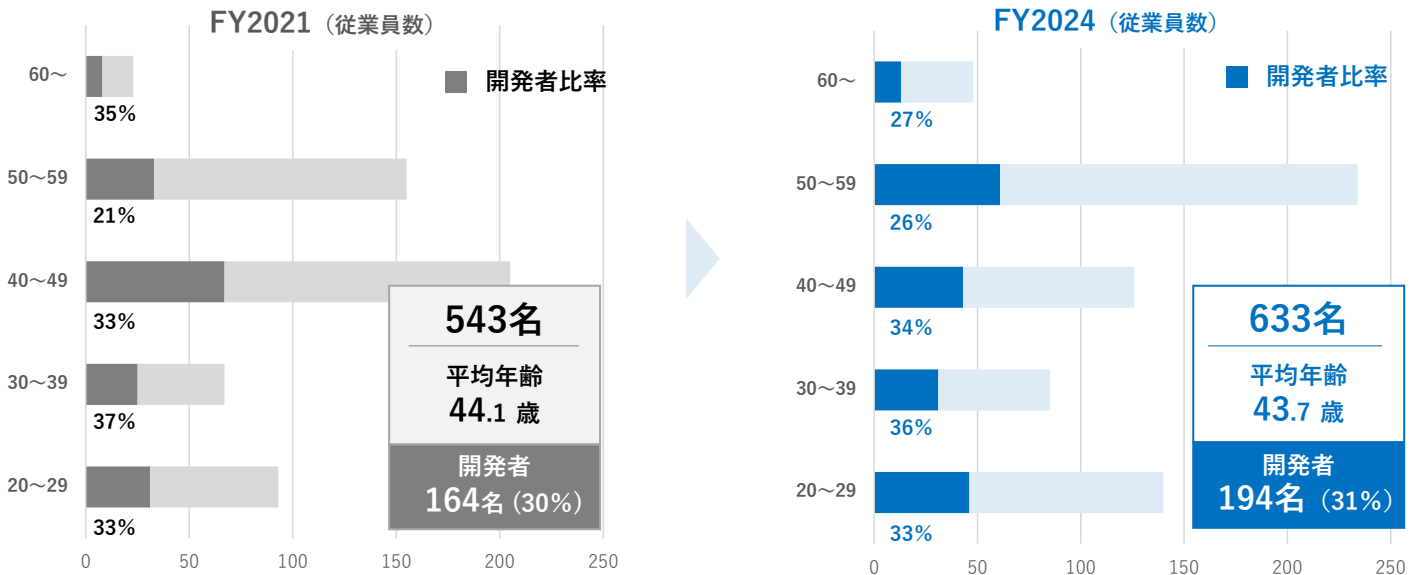
- 建設業の週休二日義務化に向けての就労支援
- 住宅太陽光発電の促進
- 官民連携、オープンイノベーション、地域創生

11

## その他投資について

### ■ その他投資について

- キャッシュ配分の考え方として成長への将来投資を行います（設備投資、M&A枠設定）。
- イノベティブ挑戦や事業持続性に向けた人材への投資を行います。
- 事業拡大を先導するためのR&D投資として、利益水準の5%程度を許容しております。



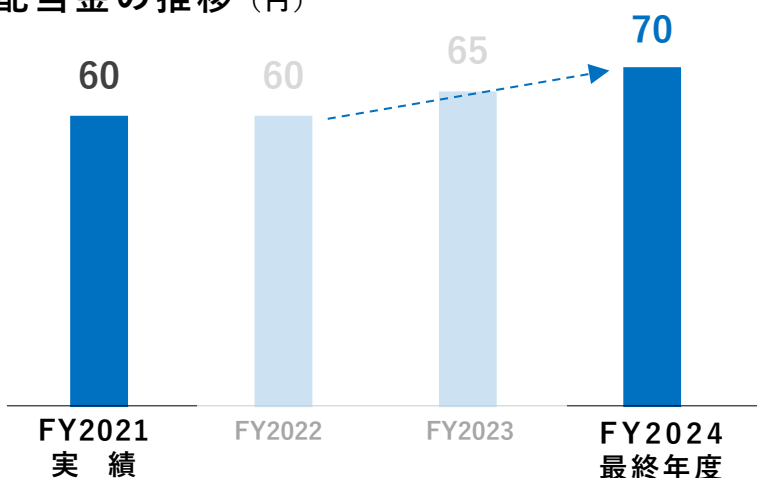
12

## 株主還元方針について

### ■ 株主還元方針

- 利益配分につきましては、「株主の皆様への利益還元姿勢を重視し、安定的かつ継続的な配当を実施する」ことを基本方針としております。
- 配当金は年5円の増配として、最終期70円を目指します。

### ■ 配当金の推移（円）



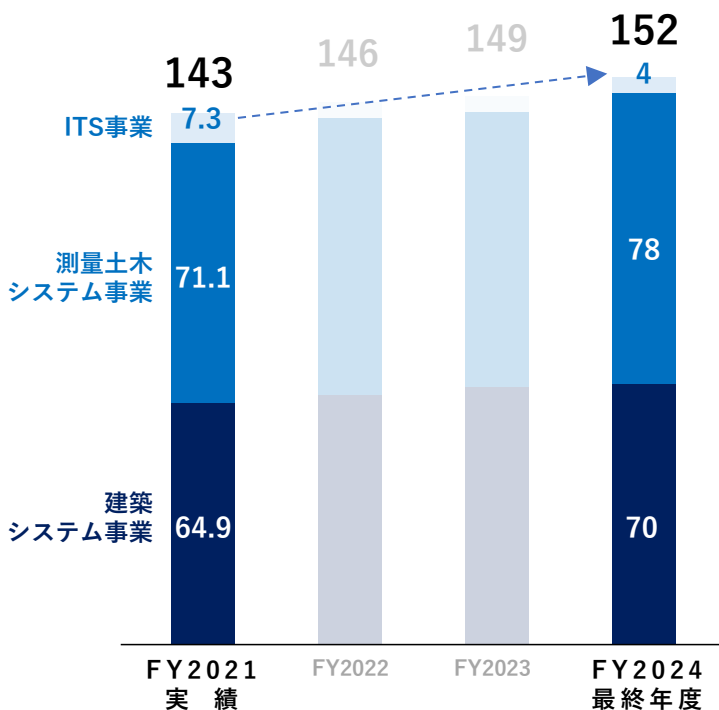
13

# APPENDIX（付属資料）

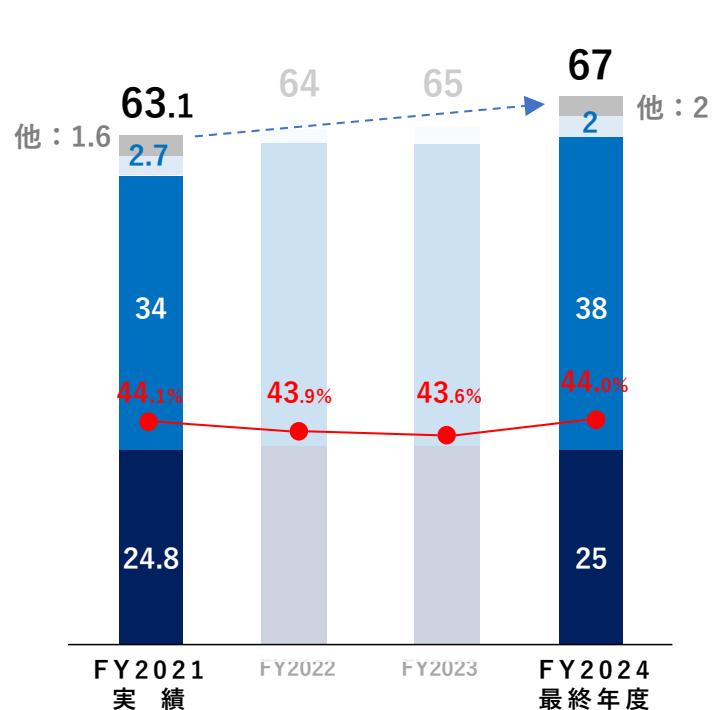
A

## 定量目標（セグメント別）

■ 売上高（億円）



■ 営業利益、営業利益率（億円）



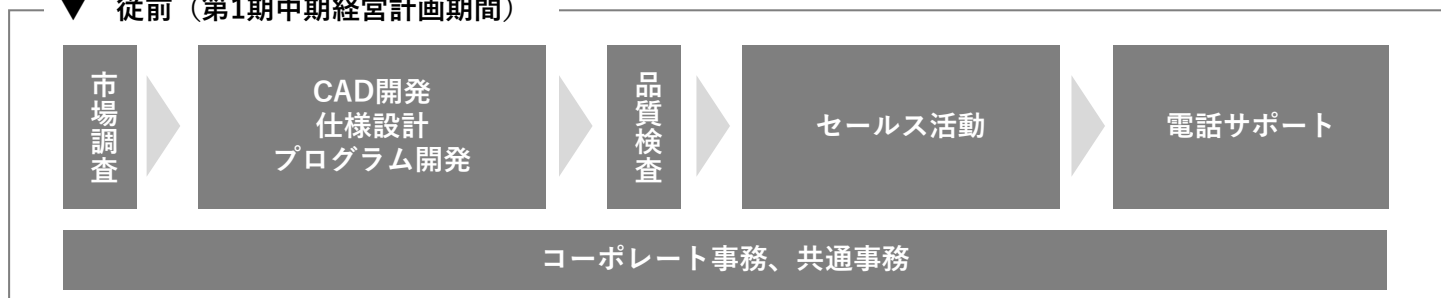


# 非財務戦略（従前比較）

## ■ 人材機能の強化

・既存事業の持続的成長と新たな成長領域の展開が可能な機能再編について

### ▼ 従前（第1期中期経営計画期間）



### ▼ 第2期中期経営計画期間

